



HP SSDアップグレードキットのイ ンストレーションガイド

HP SSD アップグレードキットのインストールガイド*

HPのソリッドステートドライブ (HP SSD) はストレージ技術における最新のソリューションで、従来のハードディスク・ドライブとは一線を画す大きなメリットを提供します。SSDは、優れた性能、改善された起動時間、素早いアプリケーションの読み込み、より長いバッテリー寿命、高い耐衝撃性により、お使いのシステム全体の操作性を改善します。

HP SSDおよびアップグレードキットが提供するストレージドライブはパフォーマンスが高く、また使いやすいデータ移行ソフトウェア、Acronis® TrueImage HD*も付属されています。これにより、お使いのハードドライブのシステムをHP SSD上で完全にクローニングすることができます。外付けUSB ポートから SSD の性能を簡単にお使いのPCに追加できる2.5 インチ SATAベース ストレージ用 USD 3.0 ポータブル エンクロージャをはじめ、必要なハードウェアはすべて付属されています。また、ハードドライブをHP SSD にクローニングし、簡単かつパワフルなアップグレードを可能にします。

このデバイスは米国連邦通信委員会 (FCC) 規則パート 15に準拠しています。動作は次の2つの条件に従います。(1) 本デバイスにより有害な干渉が生じないこと。(2) 本デバイスは、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れること。本装置は試験済みで、FCC規則パート15の対象となるクラスB デジタルデバイスに適用される制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅への設置における有害な干渉から合理的に保護するように設計されています。本装置は高周波エネルギーを発生、利用、放射し、指示に従って取り付けおよび使用されない場合には、無線通信に有害な干渉を引き起こす場合があります。

一方、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオやテレビ受信機に対して有害な干渉を引き起こす場合 (これら機器の電源の入・切で確認可能)、下記の措置を1つ以上実施し干渉の修正を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 装置と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに機器を接続する。

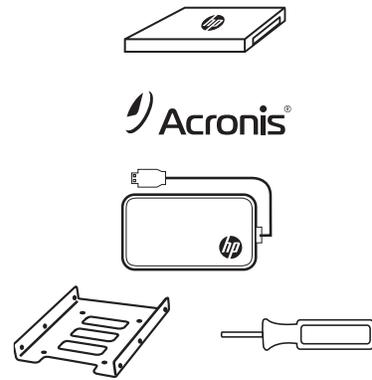
目次

付属品	3
はじめに	3
重要事項:	3
システム要件	4
システムの準備	4
インストールについて	4
オプション 1: HP SSD をプライマリ ブート ドライブとして設定 - OS、ドライバ、プログラムのクリーンインストール	5
オプション2 HP SSD をセカンダリ (ノンシステム) ストレージ ドライブとして設定	7
オプション3 HP SSD をポータブル ストレージ デバイスとして設定	8
オプション4 HP SSD をプライマリ ブート ドライブとして設定 - 現在お使いシステムをクローニング	9
クローニングソフトウェア Acronis® TrueImage HDを使う	10
Acronis TrueImage HD を使う - パーティションが単一のシステム	11
Acronis TrueImage HD を使う - パーティションが複数のシステム	15
付録: 取り付け後のシステムの準備 - Windows XP/Vista/7 ユーザ	27
トラブルシューティング	27

※ HP SSD アップグレード キット インストール ガイドでは、クローニングユーティリティのみについて説明しています。RAID やスパンディスクのアレイの画像表示やクローニングは、提供するソフトウェアではサポートされていません。利用可能でありながら、本製品バンドルには適用されない他のソフトウェアの機能についての詳細は、ソフトウェア アプリケーション内にあるAcronisの「ヘルプ」メニューを参照してください。

付属品

- HPソリッドステートドライブ
- ソリッドステートドライブ ユーティリティ ディスク (ブータブル)
 - 下記のものが含まれています:
 - Acronis TrueImage HD クローニングソフトウェア
 - HP SSD アップグレード キット インストール ガイド PDF (本ガイド)
 - Acronis TrueImage ユーザーズ マニュアル PDF
- 2.5" USB 3.0 外付けドライブエンクロージャ
- USB 3.0 ケーブル
- 3.5"デスクトップドライブ ベイ アダプタおよびドライブ取り付けネジ
- ドライバ



注記: ハードウェアの変更を開始する前に本マニュアルを印刷しておくと思われれます。ダウンロード等の情報は次のWEBサイトにアクセスしてください: **WWW.HPSUPPORT.PNY.COM**

はじめに

- 本ガイドをご一読いただき内容を理解してから取り付け作業を開始してください。
- アップグレード プロセスを開始する前に本ガイドを印刷しておくと思われれます。
- 可能であれば、お使いのシステムのリカバリ ディスク一式を生成(または購入)してください。(手順については、製造元のマニュアルを参照してください)
- ハードディスクや、最低でも重要なファイルはバックアップしておいてください。
- 製品を**www.HPSupport.pny.com** で登録すると、保障期間を2年間延長することができます。

重要事項:

- 新しい HP SSD は、2.5インチSATA III (シリアル ATA の第 3 世代) ドライブであり、SATA II と下位互換性があります。互換性に関してはシステムの仕様書を参照してください。
- デスクトップシステムに本 SSD を取り付けの際に、付属の3.5インチドライブベイ アダプタが必要となる場合があります。
- HP SSD は、従来のハード ドライブやソリッドステート ドライブの代替品となるよう設計されています。新しいハードドライブやSSDを取り付ける際の手順についてはお持ちのシステムマニュアルをご覧になるか、製造元にご確認ください。手順は、システムの製造元やモデルによって異なります。手順の一例は、www.HPSupport.pny.com から入手いただけます。
- 出荷時、HP SSD はOS、プログラム、データは一切インストールされておらず、未フォーマットです。既存の OS やプログラムで必要となるインストール ディスクがあることを確認してください。
- ブートドライブを交換する場合、他の作業を行う前に、既存のブートドライブをお使いのHP SSD上にクローニングしておくことをお勧めします。これには、付属のソリッドステート ドライブ ユーティリティ ディスクおよびUSB エンクロージャが必要となります。
- 現在のハードドライブの使用済みストレージ容量が新しいHP SSDの空き容量を超えている場合、現在のハードドライブからデータのバックアップを取り、「手動」クローニングを用いて現在のハードドライブからOS、システムユーティリティ、アプリケーションを、新しいHP SSD上にコピーすることをお勧めします。これにより、お使いのHDDドライブから選択したデータを復元したり、新しいHP SSD にストレージデバイスをバックアップすることができます。
- コンピュータのアップグレード時はいつも必要なことですが、作業を継続する前に正しく接地し、静電気がない状態にあることを確認してください。 静電気防止リストストラップを着用し、作業パッドなどの接地コンポーネントを使用して、さらに電気機器のない整然とした場所を使用することにより静電気がない環境を作ることができます。
- HP は HP SSD の取り付けやクローニング作業により生じたお客様のシステムへの損害やデータの損失に対して責任を負いかねます。
- 新しいドライブの取り付け方法についてよく分からないまたは不慣れな場合は、近くのコンピュータ販売店やサービスセンターを訪れることを強くお勧めします。



注記: 他社のバックアップ製品を用いて生成されたバックアップを用いて、ハードドライブからHP SSDにシステムを復元することもできます。市場で販売されているバックアップ製品は多種あり、これらの手順について詳細で述べることは本マニュアルの範疇を超えています。詳細については、バックアップ ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

 **注記:** Windows XP または Vista を実行して、ノート型パソコンをアップグレードする場合、作業を継続する前に、システムを手動で復元し、システムのパーティションとSSDを一致させる必要がある場合があります。手動によるクローニングの詳細に関しては、SSD ユーティリティ ディスクにあるユーザガイド「Acronis TrueImage HD」のセクション8.4.8以降を参照してください。

システム要件

・マウスまたは他のポインティング デバイス (推奨)

SSD:

- ・Windows XP/Vista/7 (32/64 ビット)、MAC OS 10.3以降
- ・SATA IO: SATA 3.0/2.0/1.0, ATA ATAPI-8 標準 NCQ

ソフトウェア:

- ・Windows XP SP3
- ・Windows XP Professional x64 エディション SP2
- ・Windows Vista SP2 (全エディション)
- ・Windows 7 SP1 (全エディション)

 **注記:** Macをお使いのお客様は、システムバックアップおよび復元に関するAcronis TrueImage HDソフトウェアの機能の多くを実行するアプリケーションであるTime Machine (別売) に関する情報を、AppleのWebサイトから参照してください。

 **注記:** ソリッドステートドライブ ユーティリティ ディスクは「ミニ DVD」の場合があります。スロットローディング方式の光学ドライブの場合はミニ DVD と互換性がないため、ファイルをダウンロードし、注意深く指示に従って適宜準備してください。

 **注記:** DVD 光学ドライブがない場合、次のWebサイトからファイルをダウンロードできます: www.HPSupport.pny.com

- ・DVD-RW 光学ドライブ (Acronis® True Image HD を起動するのに必要となります)
- ・システム メモリ: 512 MB RAM
- ・プロセッサ: Pentium 1 GHz 以上
- ・画面の解像度: 1280 x 1024
- ・最低画面解像度: 1024 x 768
- 外付けUSB 3.0 エンクロージャ:
 - ・2.5インチハードドライブまたはソリッドステート ドライブに適合
 - ・Windows XP/Vista/7 (32/64 ビット)、MAC OS 10.3以降
 - ・以下のいずれかを搭載したノート型またはデスクトップ型パソコン: USB 3.0 または 2.0の空きポート1つ

システムの準備

取り付けを開始する前に電源をオフにして、主電源からコンピュータを切断します。デスクトップ型パソコンでは、電源または延長コード (またはその両方) をコンセントから抜きます。ノート型パソコンでは、バッテリー パックを取り外します。バッテリーの取り外しや、ハード ドライブへのアクセス方法については、システム製造元発行の取扱説明書を参照してください。

インストールについて

SSD の取り付けにあたり、HP アップグレード キットではさまざまな構成が可能で、ユーザの特定ニーズを満たします:

オプション1	オプション2	オプション3	オプション4
HP SSDをプライマリドライブまたはブートデバイスとして使用 - OS、ドライバ、プログラムのクリーンインストール	HP SSDをセカンダリ (ノンシステム) ストレージドライブとして使用	HP SSDをポータブルまたは外付けストレージデバイスとして使用	SSDをプライマリドライブまたはブートデバイスとして使用 - Acronis® TrueImage HDや外付けのUSBエンクロージャの付いたシステムハードドライブ
本オプションをご利用いただくには、処理前に現在お使いのOSやプログラムのシステムリカバリディスクやインストールディスクが必要となります。必要なドライバがすべて含まれているシステムリカバリディスクの方が、好ましいかもしれません。特に、ノート型パソコンでは重要になります。	本オプションを使って、SSDを追加ストレージ (ノンシステムストレージ) としてお使いのノート型パソコンやデスクトップ型パソコンにインストールすることができます。本オプションを続行する前に、お使いのシステムの製造元の取扱説明書を参照いただき、追加のストレージドライブをサポートするのに十分な空き容量、データ、電源ケーブルがあるかを確認してください。	本オプションを使って、SSDを2.5" USB 3.0外付けドライブエンクロージャに置くことによりポータブルストレージドライブとして使うことができます。	本オプションを使って、既存のストレージドライブからお使いのOS、ファイル、プログラムをHP SSDにコピーまたはクローニングすることができます。お使いのシステムの合計データサイズが、HP SSDの容量を超えないことを確認してください。

オプション 1: HP SSD をプライマリ ブート ドライブとして設定 - OS、ドライバ、プログラムのクリーンインストール

1. システムのハードドライブの取り外し:

- ハードドライブの位置の確認および取り外しの手順については、お使いのシステムの製造元発行のユーザガイドを参照してください。
- システムのハードドライブを取り外し、ハードドライブにブラケットがある場合はこれを分解します。

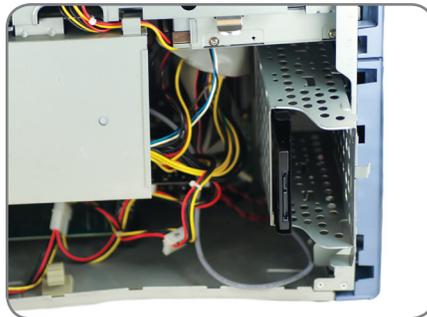
警告: ドライブのブラケットを捨てないでください - SSDを設置する際に必要となります。

2. お使いのコンピュータにHP SSDを取り付けます。

- お使いのシステムのノート型またはデスクトップ型パソコンのドライブ ベイにストレージドライブを取り付ける手順については、お使いのシステムの製造元発行の取扱説明書を参照してください。
- **ノート型パソコンの場合** : 該当する場合、お使いのシステムのハードドライブのブラケットを使用してHP SSDを組み立て、システムのドライブベイに挿入します。



- **デスクトップ型パソコンの場合**: 該当する場合、付属の3.5インチベイアダプタ、取り付けネジ、およびドライバを使用してHP SSDを組み立て、お使いのシステムのドライブベイに挿入します。

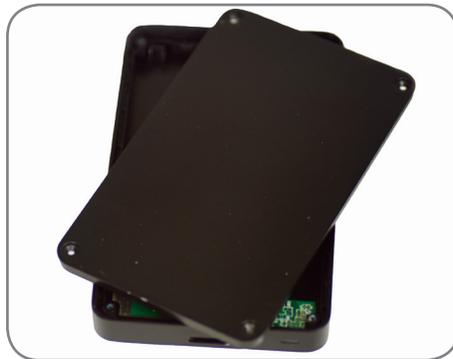


3. 新しい HP SSDは、OS、ドライバおよびプログラムをインストールする準備が整いました。OS やプログラムで必要となるインストール ディスクがあることを確認してください。

- コンピュータに電源を投入します。
- OS のインストール ディスクまたはシステムリカバリディスクを光学ドライブに挿入します
- 該当する場合、BIOS設定を参照して光学ドライブをブートドライブに設定してください。詳細については、お使いのシステムの製造元発行の取扱説明書を参照してください
- 必要であれば、SSDをフォーマットします
- インストールディスクまたはリカバリディスクからOSとソフトウェアを読み込みます

4. 元のHDDが 2.5インチ SATA ドライブの場合、任意でお使いのシステムのハードドライブを付属の外付けUSB エンクロージャに転送します。

- 覆いのネジを付属のドライバで外し、2.5インチ外付けUSBエンクロージャを開きます。



- 外付けのUSBエンクロージャのSATAドライブ コネクタの位置を確認し、これをハードドライブのSATAのピンの位置に合わせ、ドライブがしっかりと固定されるまで、これらを一緒に押します。

 **注記:** 元のHDDである 2.5インチ SATA ドライブの厚さが7MM の場合、HDDと外付けUSBエンクロージャの接続を完了する前に、オプション3のステップ2を実施してください。



 **警告:** 両デバイスのコネクタピンや接続部に触れないでください。

- 2.5インチ外付けUSB エンクロージャの覆いを閉じ、覆いのネジを締めて固定させます。
- エンクロージャにUSBケーブルを接続します。
- USBケーブルは電源供給用にもデータ送信にも利用できます。
- システムのハードウェア構成に応じて、USB 3.0またはUSB 2.0ポートへ接続します。最高のパフォーマンスを得るためにUSB 3.0ポートに接続することをお勧めします。
- ドライバのインストール - Windows は外付けUSBドライブ用のドライバを自動的に検出し、インストールします。
- お使いのハードドライブをセカンダリ ブート ドライブまたは外付けストレージ デバイスとして使用する準備ができました。

 **注記:** 元の HDD には重要なデータが含まれている可能性があります。HDD を上書き、または再フォーマットする前に、必ず重要なデータをバックアップするか、リカバリ可能な状態にしておいてください。

取り付け完了 – すべてのシステムコンポーネントがしっかりと固定されていることを確認します。システムを起動するには、システムの製造元発行の取扱説明書を参照してください。

- [付録]に進んでください: インストール後にシステムの準備をする – Windows XP/Vista/7 のユーザー [お使いのシステムをSSDに合わせて最適化する]

オプション2 HP SSD をセカンダリ(ノンシステム)ストレージドライブとして設定

 **注記:** ノート型パソコンでセカンダリストレージドライブを選択する場合、モデル固有のドライブブラケット(非付属品)が必要となる場合があります。本インストールを続行する前に、システムの製造元の取扱説明書を参照してください。既存のセカンダリドライブを交換・アップグレードする場合は、交換するドライブを取り外します:

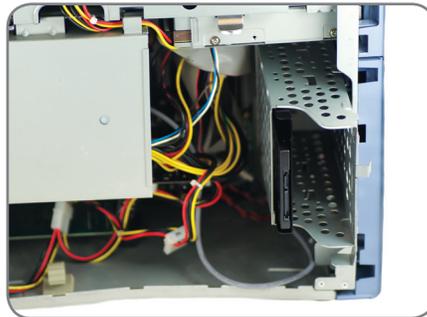
- お使いのノート型またはデスクトップ型パソコンのストレージベイの位置の確認やアクセス方法については、お使いのシステムの製造元発行の取扱説明書を参照してください。

2. お使いのコンピュータにHP SSDを取り付けます。

- お使いのシステムのノート型またはデスクトップ型パソコンのドライブベイにストレージドライブを取り付ける手順については、お使いのシステムの製造元発行の取扱説明書を参照してください。
- **ノート型パソコンの場合** : 該当する場合、システムのハードドライブのブラケットを使用してHP SSDを組み立て、お使いのシステムのドライブベイに挿入します。



- **デスクトップ型パソコンの場合:** 該当する場合、付属の3.5 インチ ベイアダプタ、取り付けネジ、およびドライバを使用してHP SSDを組み立て、お使いのシステムのドライブベイに挿入します。

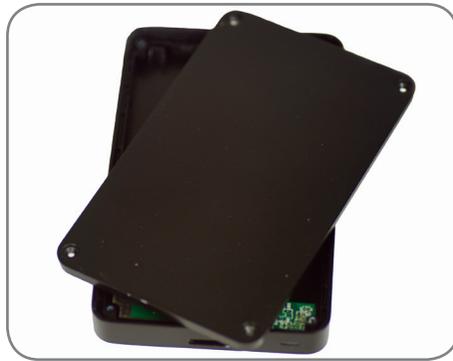


取り付け完了 - すべてのシステムコンポーネントがしっかり固定されていることを確認します。システムを起動するには、システムの製造元発行の取扱説明書を参照してください。ご使用前に HP SSD はお使いのOS とシステム要件に基づいてフォーマットする必要があります。

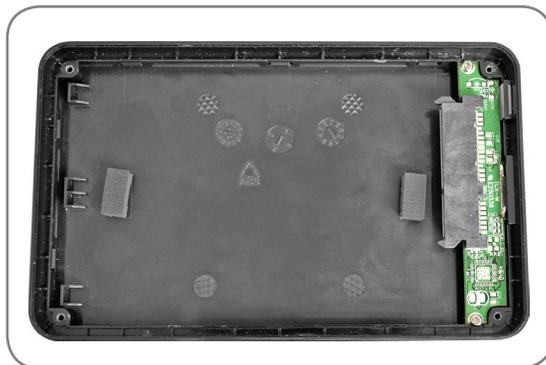
- [付録]に進んでください: インストール後にシステムの準備をする - Windows XP/Vista/7 のユーザー [お使いのシステムをSSDに合わせて最適化する]

オプション3 HP SSD をポータブルストレージデバイスとして設定

1. 覆いのネジを付属のドライバで外し外付けUSB エンクロージャを開きます。



2. HP SSD をエンクロージャに配置する前に、2つの小さなパッドをエンクロージャの下に置きます。



3. 外付けのUSBエンクロージャのSATAドライブ コネクタの位置を確認し、これをSATAのピンの位置に合わせ、ドライブがしっかりと固定されるまで、慎重にこれらを一緒に押します。



警告: 両デバイスのコネクタピンや接続部に触れないでください。

4. 外付けUSB エンクロージャの覆いを閉じ、覆いのネジを締めて固定させます。

5. USBケーブルは電源供給用にもデータ送信にも利用できます。

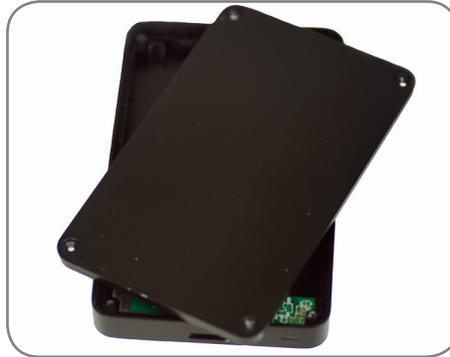
- システムのハードウェア構成に応じて、USB 3.0またはUSB 2.0ポートへ接続します。最高のパフォーマンスを得るために、お使いのシステムのUSB 3.0ポートに接続することをお勧めします。
- ドライバのインストール - Windows は外付けUSBドライブ用のドライバを自動的に検出し、インストールします。
- HP SSD をフォーマットします。

インストールを確認します。[スタート]メニューから[コンピュータ]を選択すると、ドライブが表示され、アクセス可能な状態になっているはずです。

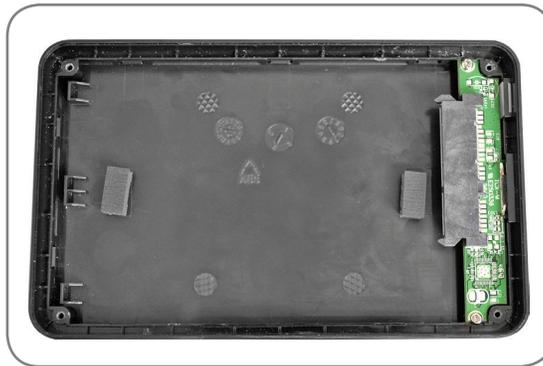
インストール完了 - HP SSDを外付けストレージデバイスとして使用する準備ができました。すべてのシステムコンポーネントがしっかり固定されていることを確認します。システムを起動するにはシステムの製造元発行の取扱説明書を参照してください。

オプション4 HP SSDをプライマリブートドライブとして設定 -現在お使いシステムをクローニング

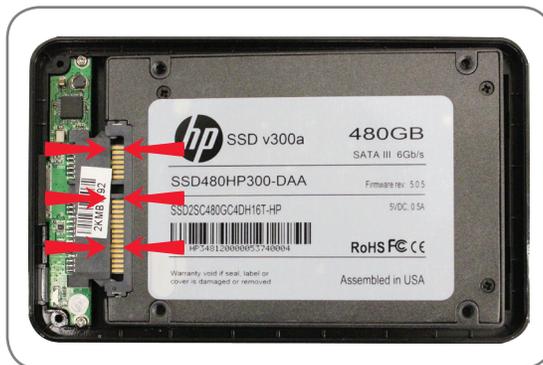
1. 覆いのネジを付属のドライバで外し、2.5インチ外付けUSBエンクロージャを開きます。



2. HP SSD をエンクロージャに配置する前に、2つの小さなパッドをエンクロージャの下に置きます。



3. 外付けのUSBエンクロージャのSATAドライブコネクタの位置を確認し、これをハードドライブのSATAのピンの位置に合わせ、ドライブがしっかりと固定されるまで、慎重にこれらを一緒に押します。



警告: 両デバイスのコネクタピンや接続部に触れないでください。

4. 2.5インチ外付けUSBエンクロージャの覆いを閉じ、覆いのネジを締めて固定させます。

5. USBケーブルは電源供給用にもデータ送信にも利用できます。

- システムのハードウェア構成に応じて、USB 3.0またはUSB 2.0ポートへ接続します。最高のパフォーマンスを得るために、お使いのシステムのUSB 3.0ポートに接続することをお勧めします。
- ドライバのインストール - Windows は外付けUSBドライブ用のドライバを自動的に検出し、インストールします。

6. 外付けの USB エンクロージャを使用して、HP SSDがお使いのシステムに接続されていることを確認します。

- [スタート]メニューから[プログラムとファイルの検索]検索ボックスに[管理ツール]と入力し、[管理ツール]をクリックします。次に[コンピューターの管理]をダブルクリックし、[ディスクの管理]をクリックします。

 **注記:** Acronis TrueImage HDの使用に際して、HP SSDを事前にフォーマットする必要はありません。

クローニングソフトウェアAcronis® TrueImage HDを使う

クローニングプロセスを開始する前に、システム構成を確認してください。ここでは、ソリッドステートドライブ ユーティリティ ディスク を起動する必要があります。お使いのシステム構成を確認してください。必要に応じて、本アプリケーションの「バックアップとリカバリ」タブの「ブータブルメディアを作成する」ユーティリティから追加のブータブルメディアを作成できます。さらに詳しい情報は、ソフトウェアユーティリティディスクにあるAcronis TrueImage HDユーザマニュアルのセクション8.1を参照してください。

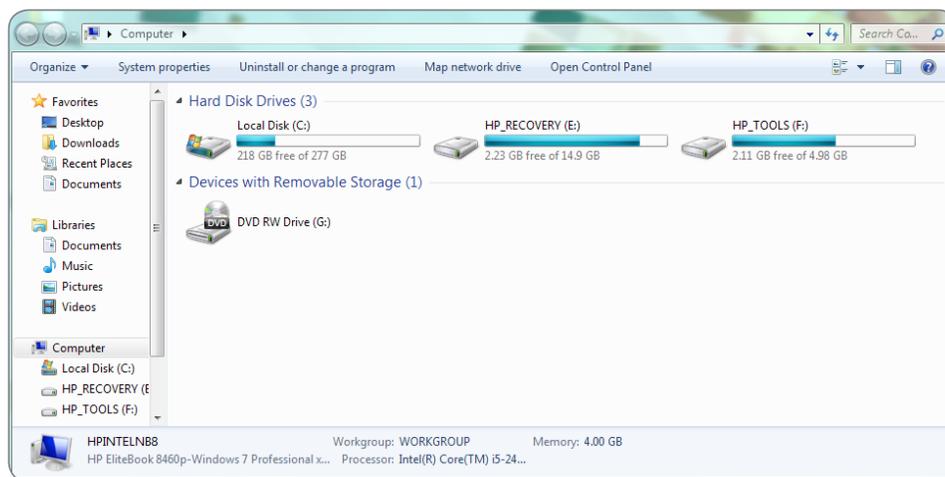
 **注記:** 使用済みストレージ容量が新しい HP SSD ドライブの空き容量を下回るまで、ハード ディスクから不要なファイルを削除できます。

 **注記:** (上級ユーザ) 現在お使いのハードドライブの使用済みストレージ容量が新しいHP SSDの空き容量を超えている場合、お使いのハードドライブからデータをバックアップし、「手動」クローニングを用いてOS、システム ユーティリティ、アプリケーションをコピーし、選択したデータを新しいHP SSDに復元することをお勧めします。Acronisでは、「手動」クローニング中にファイルの「除外」ができます。詳細については、Acronis ソフトウェア マニュアルを参照してください。

お使いのシステムのドライブのパーティションが単一(隠れたシステムパーティションは数えない)の場合、インストールガイドの「Acronis TrueImage HDを使う - パーティションが単一のシステム」を参照してください。残りの手順を進める前にお使いのシステムのドライブからHP SSDにデータをコピーする方法を説明しています。



お使いのシステムのパーティションが複数の場合、インストールガイドの「Acronis TrueImage HDを使う - パーティションが複数のシステム」を参照してください。残りの手順を進める前にお使いのシステムのドライブからHP SSDにデータをクローニングする方法を説明しています。パーティションが複数のシステムの例を以下に示します。この例では、パーティションC:、E:、F:がすべて単一のドライブ上に存在します。



Acronis® TrueImage HD を使う – パーティションが単一のシステム

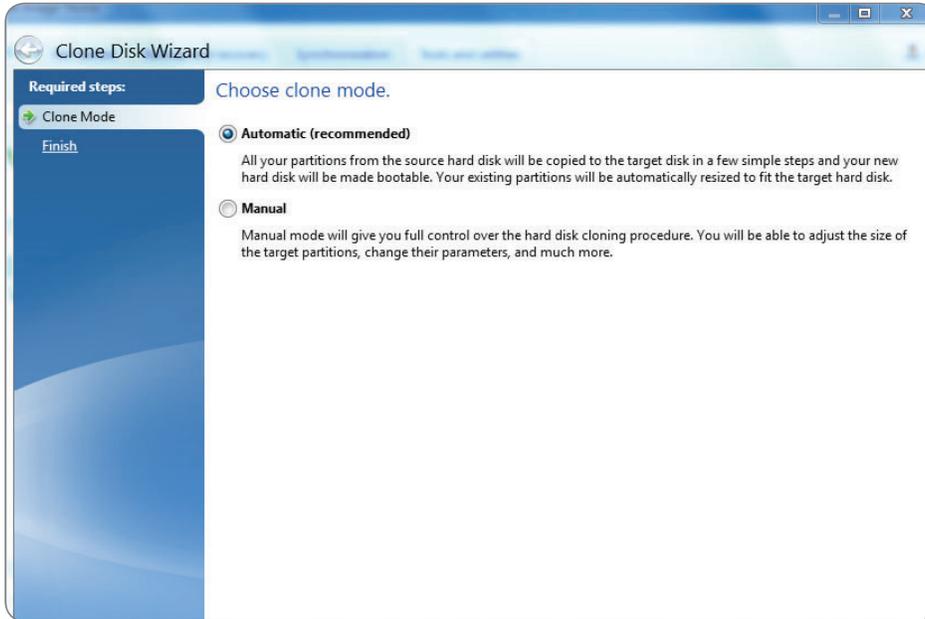
以下のAcronis TrueImage HDの説明では、「自動」クローニングを紹介します。これは、SSDの空き容量がクローニング対象の単一のドライブパーティションに含まれるデータサイズより大きい場合に利用可能なオプションです。SSDが置き換えられるデータのサイズ以下の場合、Acronis TrueImage ユーザマニュアルを参照してください。

1. 外付けの USB エンクロージャを使用して、HP SSDがお使いのシステムに接続されていることを確認します。
 - [スタート]メニューから[プログラムとファイルの検索]検索ボックスに[管理ツール]と入力し、[管理ツール]をクリックします。次に[コンピューターの管理]をダブルクリックし、[ディスクの管理]をクリックします。
 - クローニングソフトウェアAcronis TrueImage HDを起動するには、システムを再起動します。
 - 光学式ドライブにSSDユーティリティディスクを挿入します。
 - 必要な場合は、システムが光学ドライブから起動するように、システムのBIOSを設定します。通常、電源を入れた後、指定のキー（通常はEsc）を押すことで、電源投入時の起動順序を設定するオプションが開きます。詳細については、お使いのシステムの取扱説明書を参照してください。
2. ソフトウェアがロードされ、パーティションを分析するのを待ちます（数分かかる場合があります）。
 - ソフトウェアのロード中に画面が数分間暗くなる場合があります。



3. クローニングモードを選択します

- [ディスククローニングウィザード] から、**自動モード**を選択します。

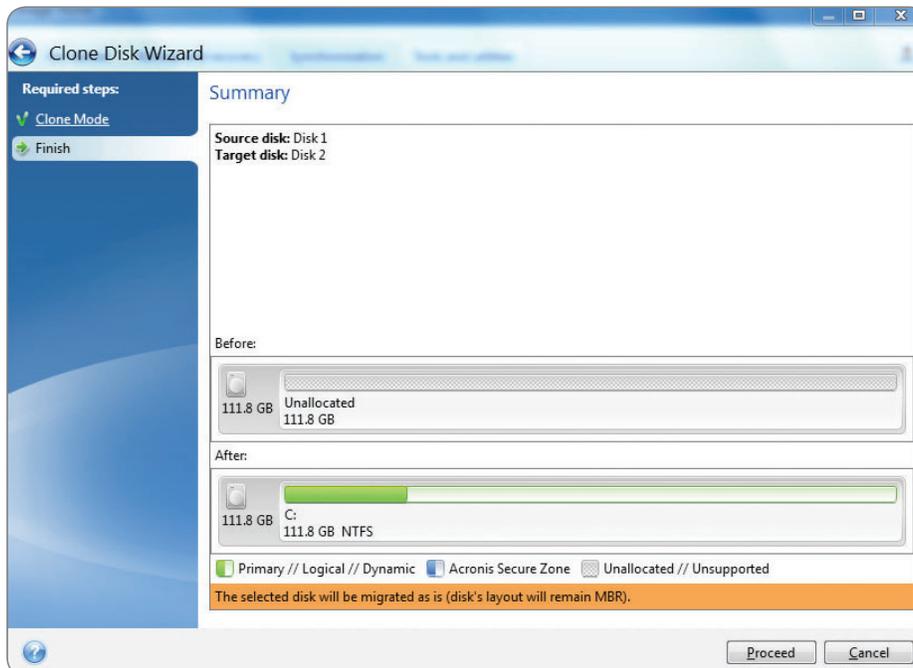


 **注記:** プログラムが2つのディスクを検出し、一方はパーティションが分割されており、もう一方は分割されていない場合、プログラムは自動的に分割されたディスクをソースディスク、分割されていないディスクを宛先ディスクとして認識します。このような場合には、以降の手順はバイパスされ、クローニングの概要の画面に移動します。

 **注記:** 特定のアイテムやフォルダを除外するには、Acronisユーザガイドのセクション8.4.7を参照してください。

4. クローニングの概要

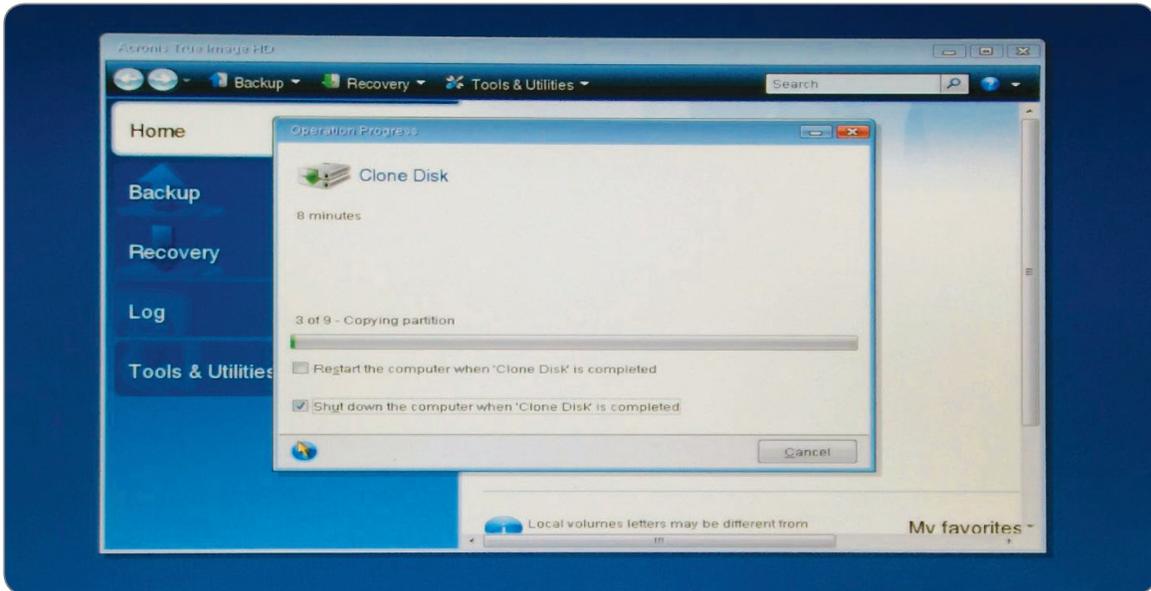
クローニングの概要ウィンドウでは、ソースディスク(パーティションと未割り当て領域)と宛先ディスクの配置に関する情報が視覚的に描画されます(棒グラフ)。ディスク番号とともに、ディスク容量、ラベル、パーティション、およびファイルシステム情報が表示されます。



- **[進む]** をクリックすると、ディスクのクローニングが開始します。

- **[キャンセル]** をクリックすると、手順がキャンセルされ最初に戻ります。

 **注記:** [キャンセル]を選択した場合は、新しいSSDのパーティションを再度分割しフォーマットするか、本セクションの初めに戻りクローニングの手順を繰り返してください。



クローニングされたディスクから再起動されるのを防ぐため、「クローニングディスクが完成したらコンピュータをシャットダウンする」ボックスにチェックを入れることをお勧めします。

クローニング完了 - お使いのHP SSDを内蔵ストレージドライブと交換する準備ができました。

5. 任意で、現在お使いのシステムのハードドライブを取り外して、ポータブルUSBドライブエンクロージャに移動します。

- ハードドライブの位置の確認および取り外しの手順については、お使いのシステムの製造元発行のユーザガイドを参照してください。
- 慎重にシステムのハードドライブを取り外し、ハードドライブのブラケットがある場合はこれを分解します。

 **警告:** ドライブのブラケットまたはネジを捨てないでください - SSDを取り付ける際に使用します。

- 覆いのネジを付属のドライバで外し、2.5インチ外付けUSBエンクロージャを開きます。



- HP SSD を取り外し、脇へ置いておきます。

6. エンクロージャにハードドライブを接続します。

- 外付けのUSBエンクロージャのSATAドライブ コネクタの位置を確認し、これをハードドライブのSATAのピンの位置に合わせ、ドライブがしっかりと固定されるまで、これらを一緒に押します。

 **注記:** 元のHDDである 2.5インチ SATA ドライブの厚さが7mm の場合、HDDと外付けUSBエンクロージャの接続を完了する前に、オプション3のステップ2を実施してください。

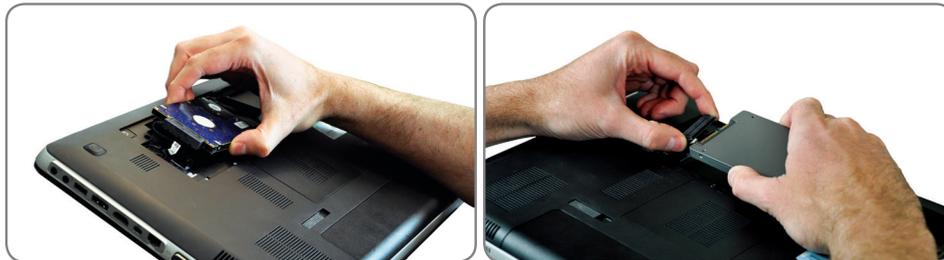


警告: 両デバイスのコネクタピンや接続部に触れないでください。

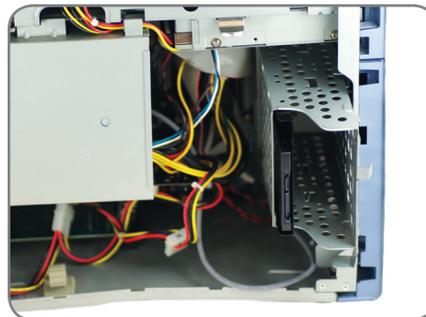
- 2.5インチUSB エンクロージャの覆いを閉じ、覆いのネジを締めて固定させます。
- エンクロージャにUSBケーブルを接続します。
- HP SSDをお使いのノート型またはデスクトップ型パソコンに取り付けると、ハードドライブはセカンダリブートドライブまたは外付けストレージデバイスとして使用できるようになります。

7. お使いのコンピュータにHP SSDを取り付けます。

- お使いのシステムのノート型またはデスクトップ型パソコンのドライブベイにストレージドライブを取り付ける手順については、お使いのシステムの製造元発行の取扱説明書を参照してください。
- **ノート型パソコンの場合:** 該当する場合、システムのハードドライブのブラケットを使用してHP SSDを組み立て、お使いのシステムのドライブベイに挿入します。



- **デスクトップ型パソコンの場合:** 該当する場合、付属の3.5インチベイアダプタ、取り付けネジ、およびドライブバを使用してHP SSDを組み立て、お使いのシステムのドライブベイに挿入します。



取り付け完了 - すべてのシステムコンポーネントがしっかりと固定されていることを確認します。システムを起動するには、システムの製造元発行の取扱説明書を参照してください。システムの電源を入れると、OSが起動するはずですが、ファイルおよびプログラムはすべて、ハードドライブが取り付けられていたときと同じであるはずですが。

注記: 他のAcronisソフトウェアユーティリティを利用したい場合は、コンピュータを再起動してメインメニューに戻る必要があります。

注記: [付録]に進んでください: インストール後にシステムの準備をする - Windows XP/Vista/7 のユーザー [お使いのシステムをSSDに合わせて最適化する]

Acronis® TrueImage HD を使うーパーティションが複数のシステム

 **注記:** 本ブータブルディスクバージョンを使用する前に、Acronisソフトウェアの試用版はすべて削除することを強くお勧めします。

 **注記:** 現在お使いのハードドライブの使用済みストレージ容量が新しいHP SSDの空き容量を超えている場合、お使いのハードドライブからデータをバックアップし、「手動」クローニングを用いてOS、システムユーティリティ、アプリケーションをコピーし、選択したデータを新しいHP SSDに復元することをお勧めします。使用済みストレージ容量が新しいHP SSDドライブの空き容量を下回るまで、ハードディスクからファイルを削除することもできます。

多くの場合、システムは複数のドライブパーティションで構成されています。例えば、追加のドライブパーティションは、リカバリパーティションや、ツールパーティションがあれば、これで構成されている可能性があります。以下では、これらのパーティションが両方存在する典型的なシステムをクローニングする手順を詳説します。

システムドライブの自動クローニングを選択した場合、自動的に生成されるリカバリパーティションおよびツールパーティションは、多くの場合、「ディスク容量が不足しています」というWindowsの通知を避けるために、スペースを残しません。Windowsではこの通知を表示しないように設定できますが、これはお勧めしません。デフォルトのドライブイメージ同様、システムリカバリやシステム診断実行のために追加容量の割り当てが必要となる場合があります。

次の手順では、SSDは未使用状態で事前にフォーマットされておらず、お客様はSSDを外付けエンクロージャに取り付け、付属のUSB 3.0ケーブルを利用可能なUSB 3.0ポート(最高のパフォーマンスを得るために推奨)またはUSB 2.0ポートに接続していることを想定しています。下記の手順は、典型的なノート型パソコンの移行を想定したものです。デスクトップ型パソコンでもご利用いただけます。

この手順では、SSDの容量が240GBであることを想定していますが、システムのドライブをクローニングするために十分な容量をSSDに確保してあれば、容量が異なってもご利用いただけます。

この手順では、利用可能な光学ドライブが備わっていることを想定しています。システムに光学ドライブが搭載されていない場合、外付け光学ドライブ、または起動可能なフラッシュドライブを使用する必要があります。起動可能なメディアの生成方法に関する詳細な手順については、ソフトウェアユーティリティディスクにあるAcronisソフトウェアマニュアルを参照してください。

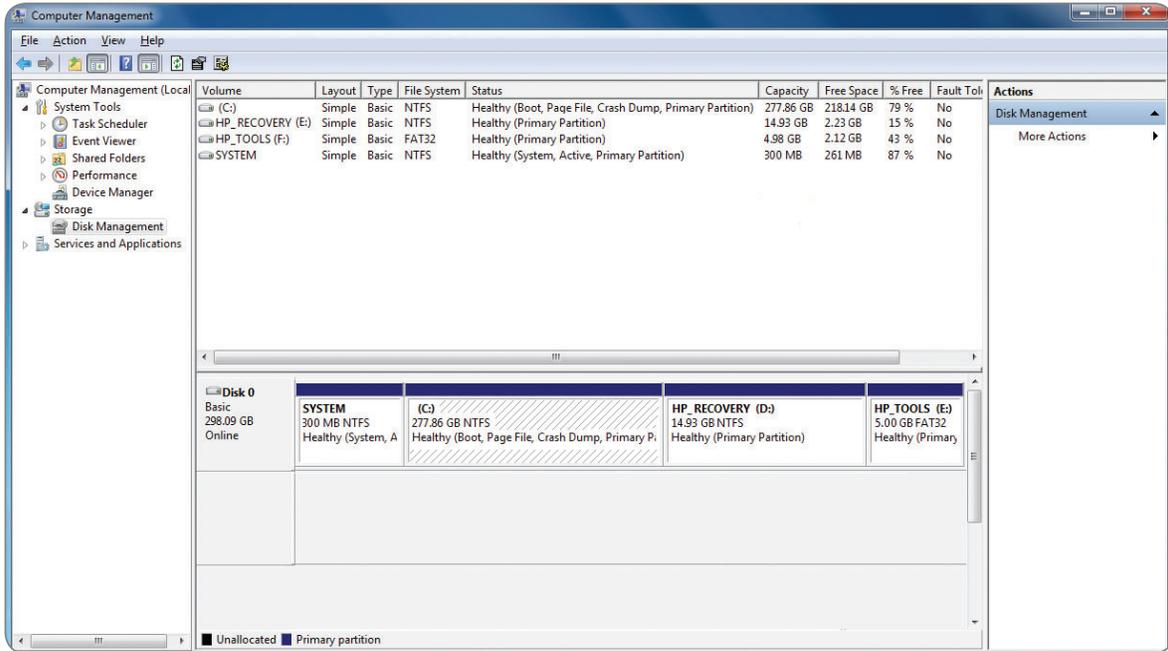
 **注記:** 以下の手順は、メインのHDDに割り当てられた他のパーティションをクローニングする場合にも役立ちます。

1. お使いのノート型またはデスクトップ型パソコンの電源を入れます。お使いのシステムの [**コンピューターの管理**] 画面を開き、HDDの各パーティションのサイズをメモします。

- **Windows XP、Vistaまたは7のお客様:** [**スタート**] メニューから [**プログラムとファイルの検索**] 検索ボックスに入力し、[**管理ツール**] をクリックします。次に [**コンピューターの管理**] をダブルクリックし、[**ディスクの管理**] をクリックします。[**コンピューターの管理**] ウィンドウに、システム上のすべての内蔵ドライブ (HDDまたはSSD) および外付けドライブ (ポータブルハードドライブ、USBドライブ、フラッシュメモリーカード等) が表示されます。すべての外付けストレージデバイスを取り外すことをお勧めします。
- 後で使用するため、各パーティション (この例ではHP_RECOVERYとHP_TOOLS) に必要なファイルシステムと容量および各値をメモしておきます。隠れた「システム」パーティションがある場合には、これも書き留めます。これらのパーティションが、新しいHP SSDにクローニングされ、残りの容量はメインストレージパーティションであるC:/パーティションで使用することができます。

•次の例では:

システム = 300MB.....Hidden NTFS “System Partition on C: drive, required by Windows
HP_RECOVERY = 14.93GB[リカバリ] NTFSパーティション (割り当てられたドライブ文字E :)
HP_TOOLS = 5.00GB[HP_TOOLS] FAT32パーティション (割り当てられたドライブ文字F :)



2. 始めるには:

•システムの光学ドライブにSSDユーティリティディスクを挿入します。

 **注記:** SSDユーティリティディスクが「ミニDVD」の場合は、選択した光学ディスクドライブが、トレイローディング方式の光学式ドライブである必要があります。トレイローディング方式の光学式ドライブが利用できない場合、ファイルをwww.HPSupport.pny.comからダウンロードすることができます。[Acronis TrueImage HD を使用] で生成したブータブル Acronis CDRまたはブータブル フラッシュを使うこともできます。

•システムの電源を切ります。

3. 外付けUSBエンクロージャを使用してシステムにHPのSSDを接続していることを確認します。

4. システムに電源を投入します。

•必要な場合は、システムが光学ドライブから起動するように、システムのBIOSを設定します。通常、電源を入れた後、指定のキー(通常はEsc)を押すことで、電源投入時の起動順序を設定するオプションが開きます。詳細については、お使いのシステムの取扱説明書を参照してください。

•ソフトウェア ユーティリティ ディスクは、起動可能なディスクで、Acronis TrueImage HD ホーム画面に起動します。

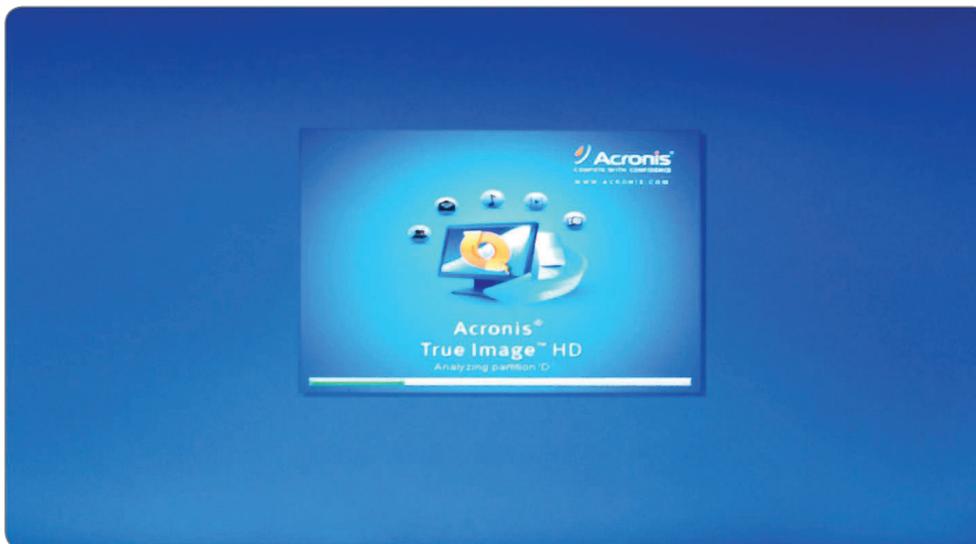
5. Acronis のホーム画面で、適切な言語を選択します。

 **注記:** オリジナルのソフトウェアディスクに直接起動する場合のみ、この画面が表示されます。Acronis アプリケーションからブートフラッシュやブートCDRを用いた場合は、この画面は表示されません。



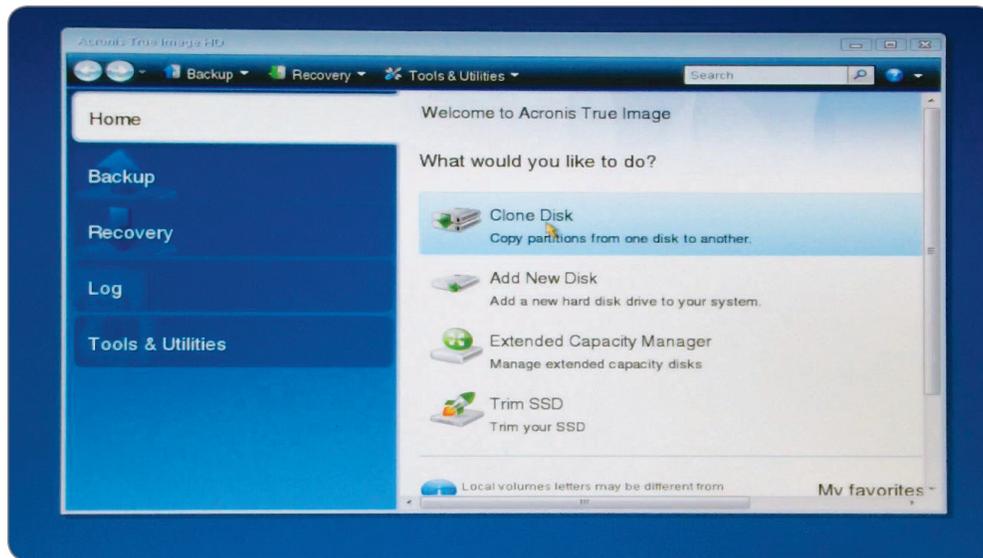
6. ソフトウェアがロードされ、パーティションを分析するのを待ちます (数分かかる場合があります)。

- ソフトウェアのロード中に画面が数分間暗くなる場合があります。



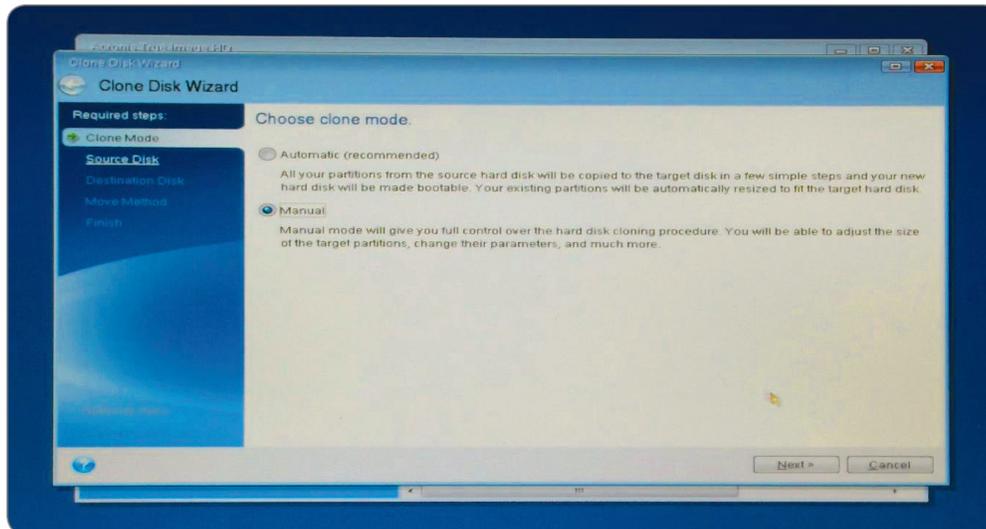
7. [ディスクをクローニングする]を選択します。

- パーティション分析後、メインメニューからディスクのクローニングウィザードが起動します。
- **ディスクをクローニングする**を選択します。



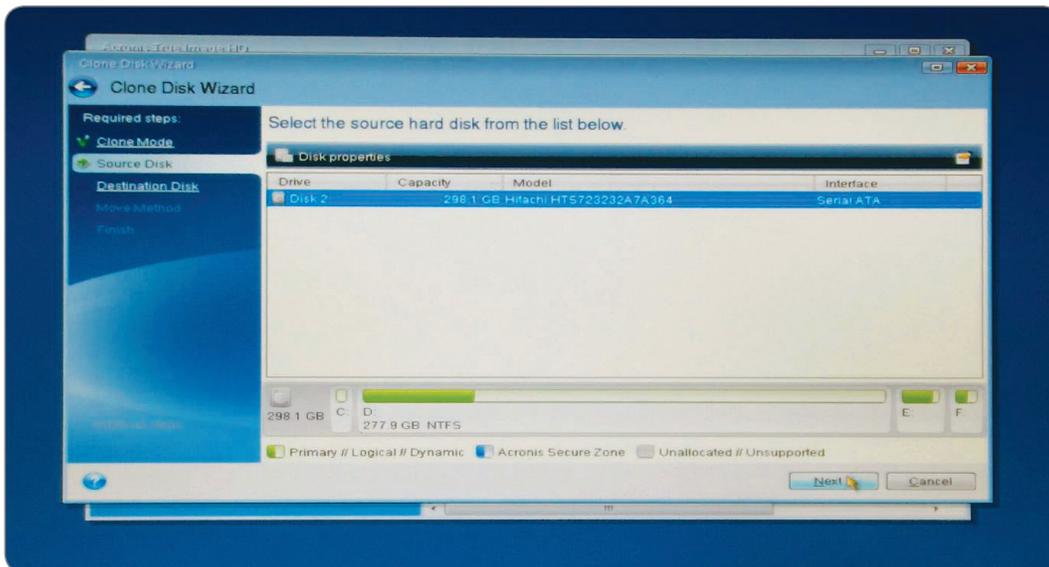
8. [クローニングモード] を選択

- [ディスクのクローニング] ウィザードで、**手動モード** を選択し、**次へ** をクリックします。



9. ソースディスクを選択

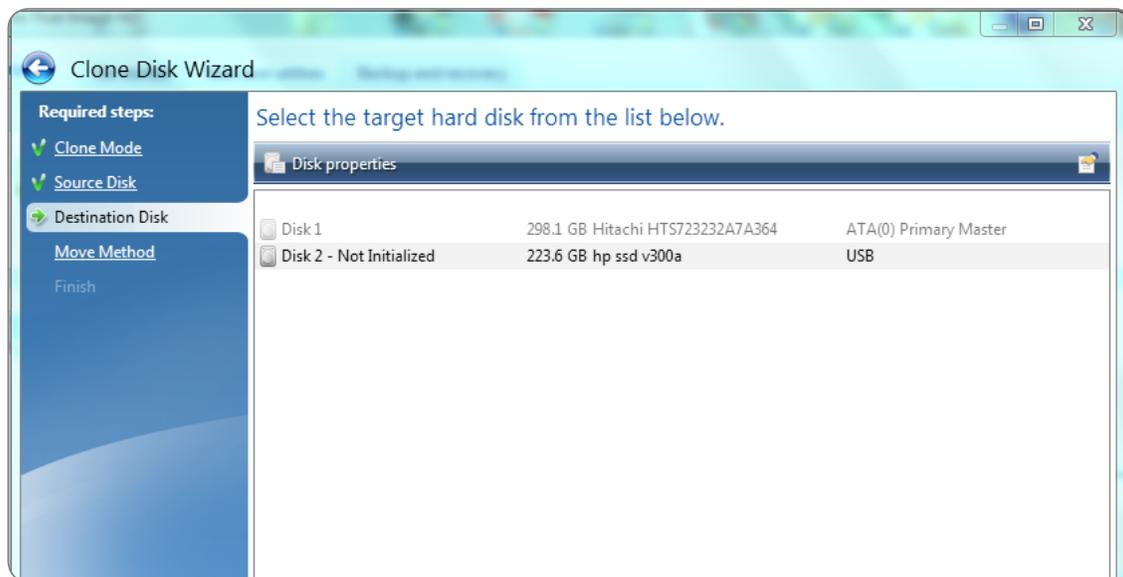
- システムドライブのパーティションが表示されます (ディスクの場所により決定されるドライブ文字は無視してください)。
- **ソースディスク** としてディスクを選択し、**次へ** をクリックして続行します。



注記: SSDが事前にフォーマットされている場合、これもウィンドウ上に表示されますが、これを無視して正しいソースディスクを選択してください。SSDが事前にフォーマットされている場合、これもウィンドウ上に表示されますが、これを無視して正しいソースディスクを選択してください。

10. 宛先のディスクを選択します。

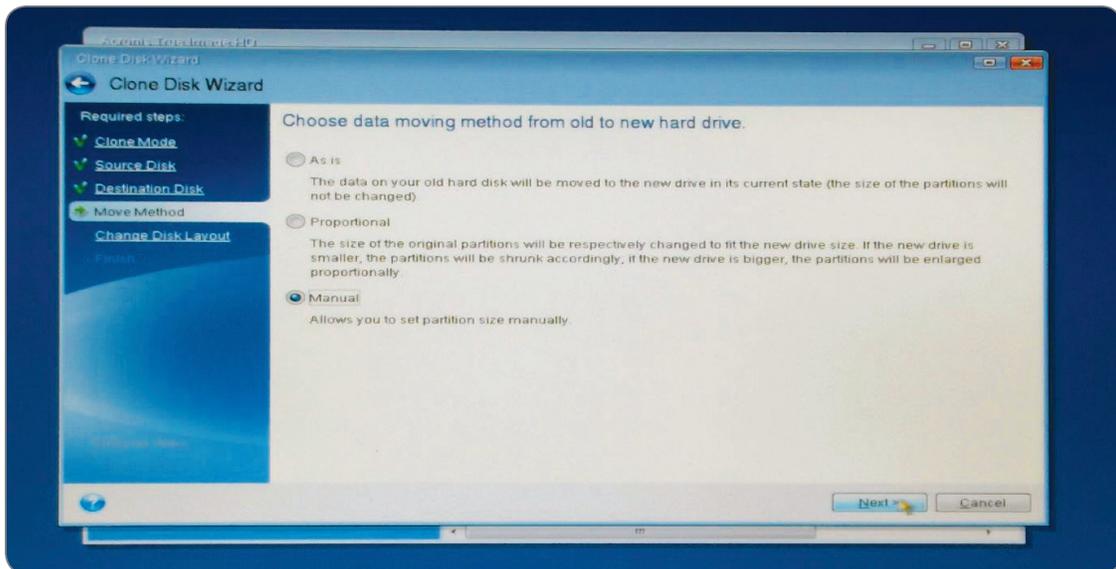
- ソースディスクを選択した後、ディスク情報がコピーされる宛先となるHP SSDを選択します。先に選択したソースディスクは、淡色表示され、選択できなくなります。
- **宛先ディスク** としてHP SSDを選択し、**次へ** をクリックして続行します。



11. 移動方法。

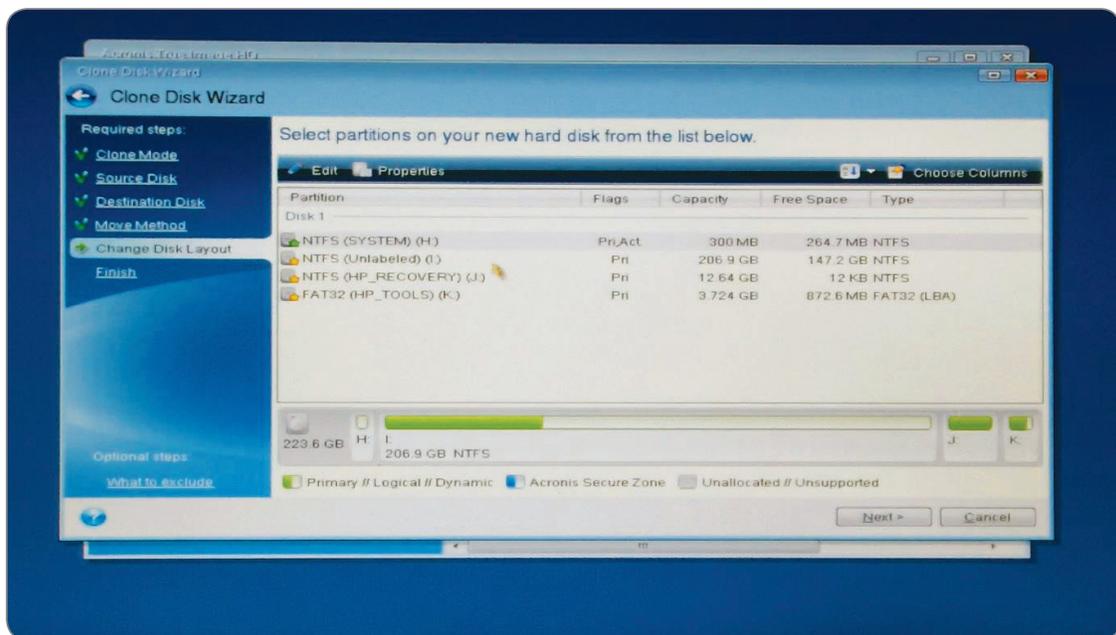
手動クローニングモードを選択すると、Acronis TrueImage HDは下記のデータ移動の方法を提供します：

- **そのまま** - 新しいパーティションが、同じサイズ、種類、ファイルシステムおよびラベルを持つそれぞれのオリジナルのディスクごとに生成されます。未使用領域が未割り当てになります。
- **比例** - 新しいディスク領域は、クローニングされたパーティション間で比例的に分割されます。
- **手動** - 新しいサイズとその他のパラメータを独自に指定します。
- 手動の転送方法により、新しいディスク上でパーティションのサイズを変更することができます。デフォルトでは、プログラムは比例的にパーティションのサイズを変更します。
- **手動** を選択し、**次へ** をクリックします。



12. 手動パーティション分割 - ディスクレイアウトのクローニング

- ウィンドウには、パーティション、未割り当て領域、新しいディスクレイアウトを含むソースハードディスクを示す四角形が表示されます。
- ハードディスクの番号とともに、ディスク容量、ラベル、ボリュームおよびファイルシステム情報を見ることができま
す。プライマリ、ロジカル、未割り当て領域等、異なるボリュームタイプは、それぞれ異なる色で表示されます。



- HP_RECOVERYパーティションとHP_TOOLSパーティションに利用可能な空き容量を確保するために、ディスクの配置を変更する必要があります。SSDの空き容量は223.6GBであることに注意してください。
- パーティションは、この手順の最初に記録された容量を使用して、修正する必要があります。この例では、メイン(C:)ディスクをベースとして次の容量を持っていました：

システム = 300MB又は0.3GB HP_RECOVERY = 14.93GB..... HP_TOOLS = 5.00GB

- HP_RECOVERYとHP_TOOLSパーティションで利用可能な容量を得るために、最も大きなパーティションを最初に修正してください。この場合、最大パーティションはNTFS(ラベルなし)で、デフォルト容量206.9GBを示しています。これは、デフォルトのパーティションの計算ですが、そのままではあまりにも大きい値です。そこで、次の計算式を利用して変更します。

新しいデフォルトパーティション = 利用可能なSSD容量 - (システム + HP_RECOVERY + HP_TOOLS)
 新しいデフォルトパーティション = 223.6 - (0.3 + 14.93 + 5) = 223.6 - 20.2 = 203.4 GB

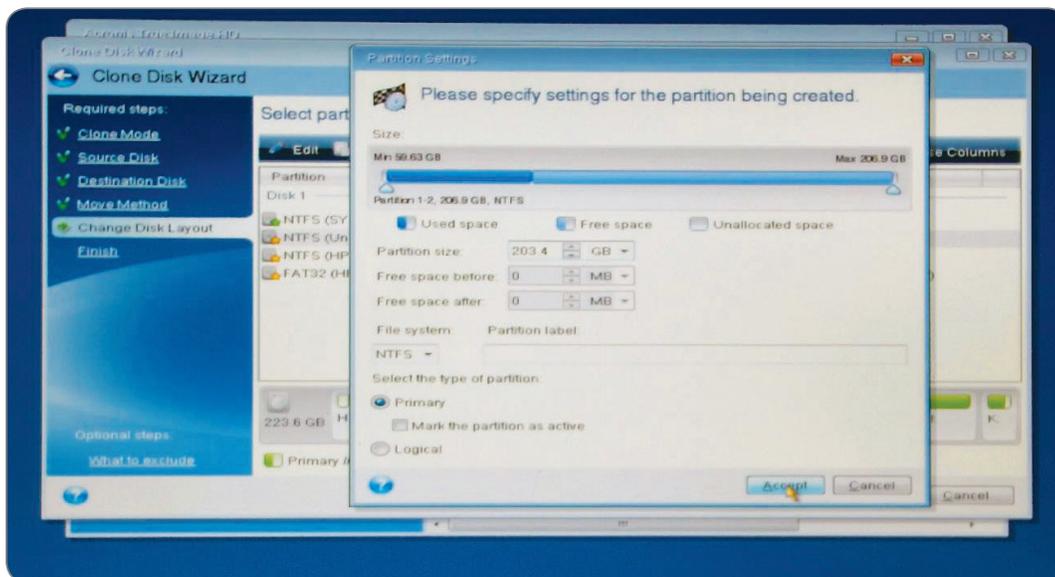
 **注記:** パーティションのセットアップ中、必要に応じて、いつでも取り消しを行い、番号の「再調整」を行うことができます。

13. HP SSDの分割

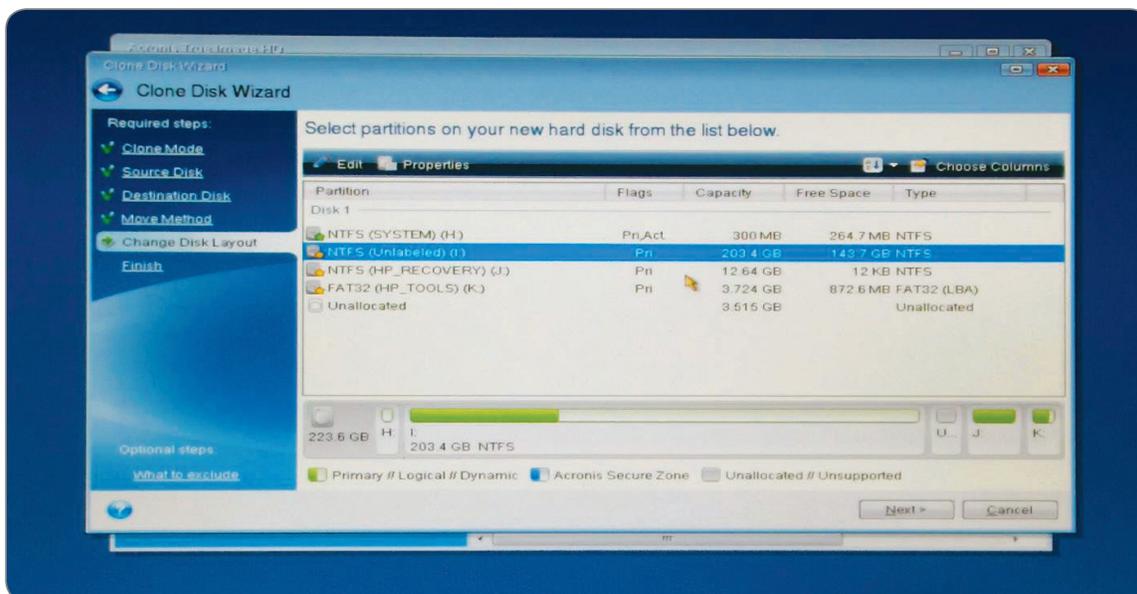
- 最大のパーティションを設定するには、パーティションをハイライトし、クリックして、**パーティションの設定** ウィンドウを立ち上げます。
- この例では、**パーティションサイズ** 203.4 GBになります。

 **注:** パーティションサイズは、容量ゲージ図の右側にある矢印をドラッグして変更することもできます。

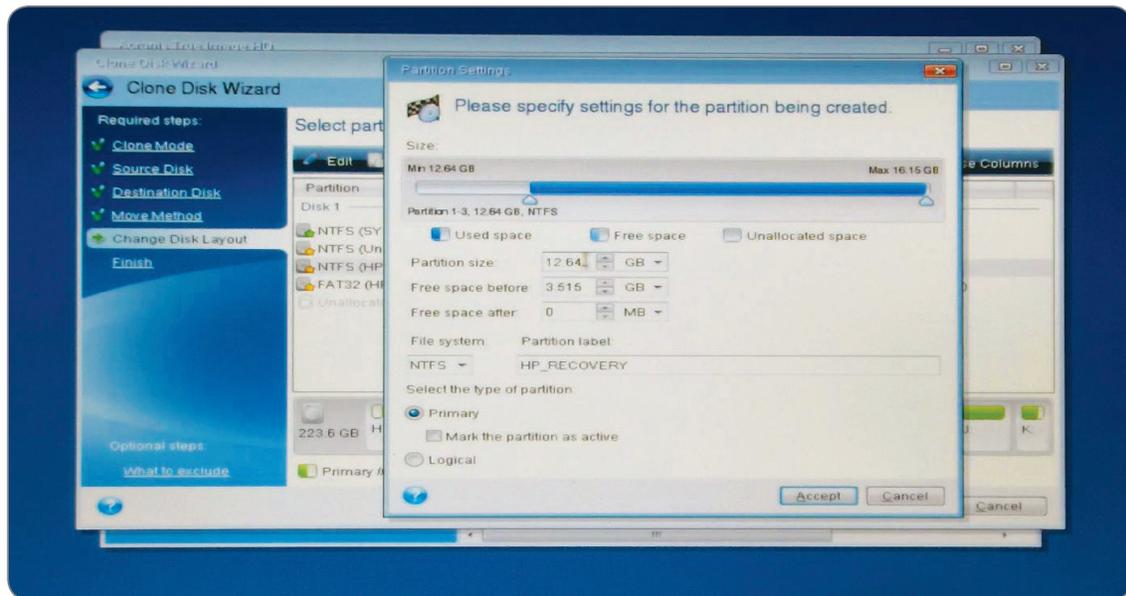
- **ファイルシステム** フィールドを[NTFS]とし、**パーティションの種類を選択** フィールドで「プライマリ」にドライブセットを選択します。
- **[許可する]** をクリックします。



- これで、パーティションの表示がいくつかの「未割り当て」領域を反映して表示されるようになりました。この例では、大きなグラフィカルパーティションの後、「HP_RECOVERY」パーティションの前に未割り当て領域の3.515 GBが表示されています。

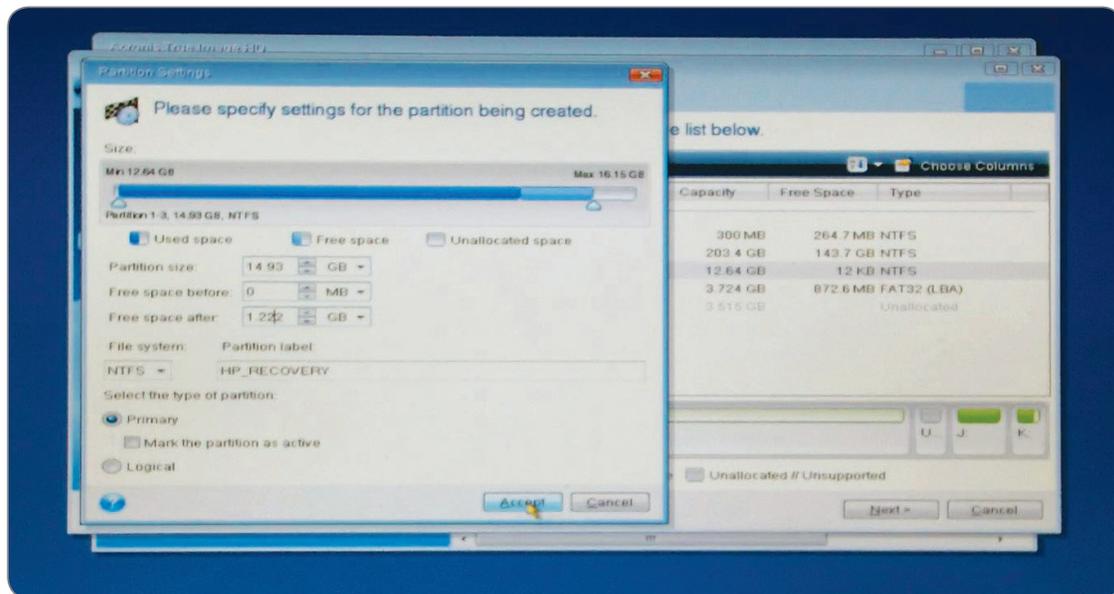


- 「HP_RECOVERY」パーティションをハイライトし、ダブルクリックします。

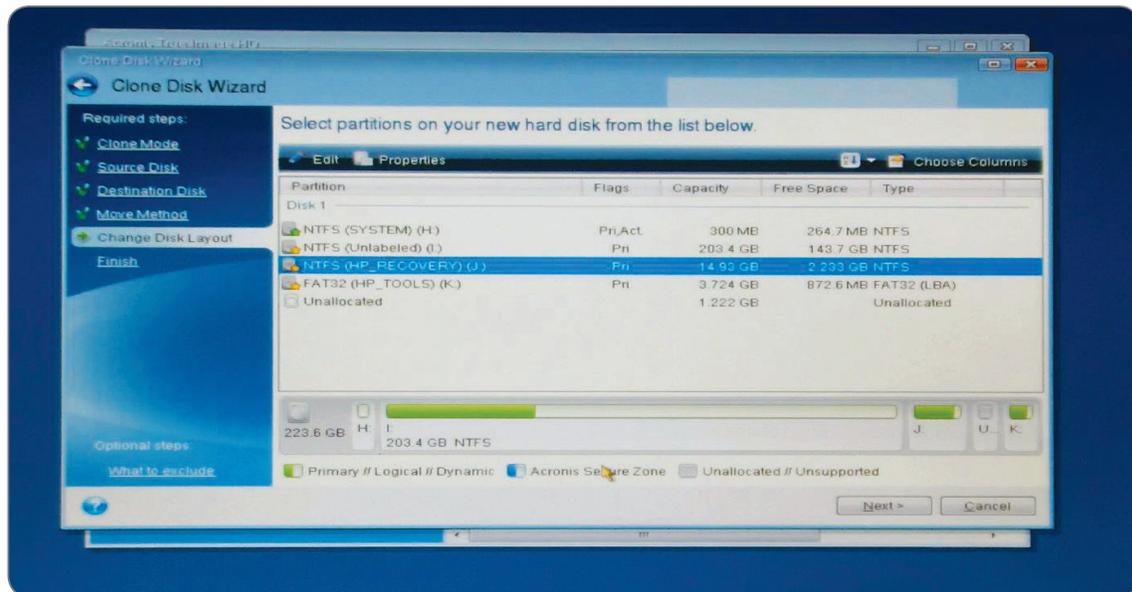


- HP_RECOVERY パーティションサイズを手順の開始時に記録した容量に変更します。この例では、元のHP_RECOVERYパーティションは14.93 GBでした。

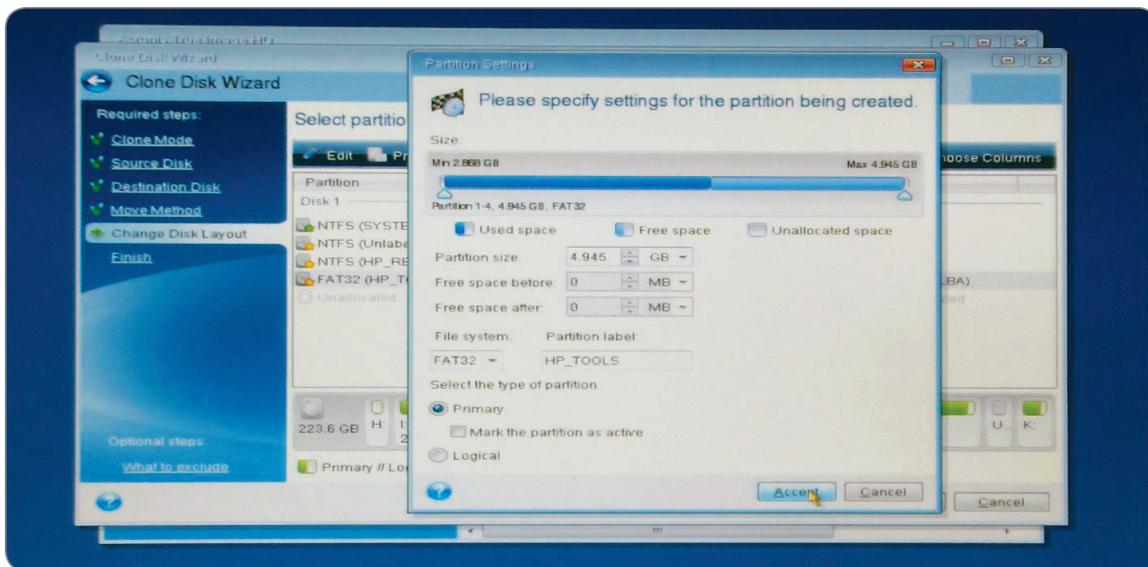
 **注記:**「空きスペース前」に、フィールド「空きスペース後」位置で残りの空き領域を配置するために「0」(ゼロ) が設定されているを確認します。



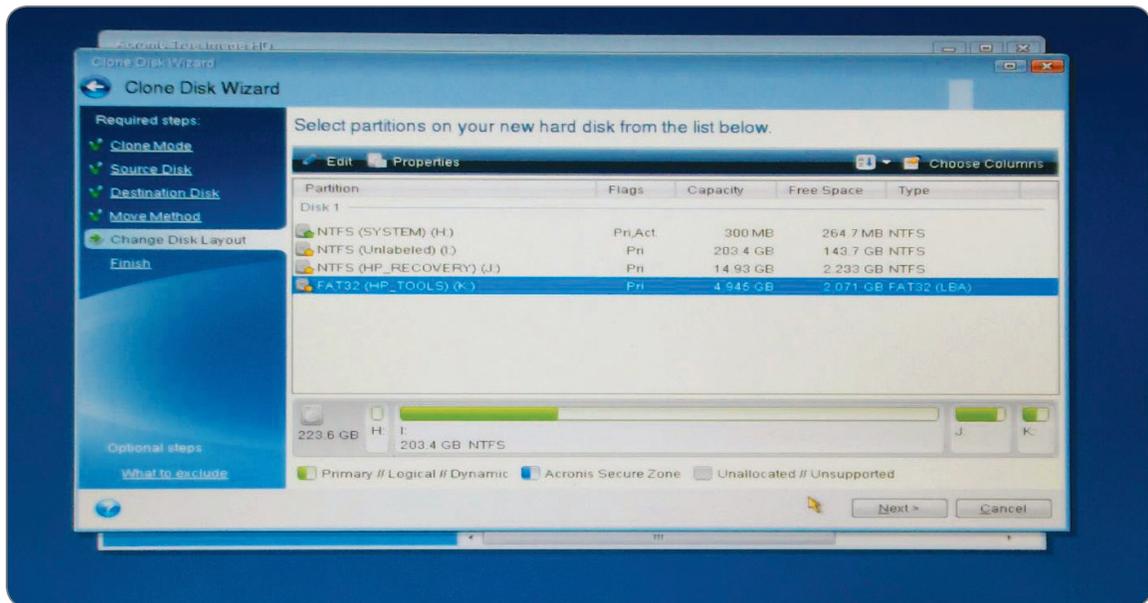
- ファイル システム フィールドのままに"NTFS"とドライブパーティションフィールドの種類で「プライマリ」に設定します。
- 「許可する」をクリックすると、ディスクの配置は下のスクリーンショットのようになります。未割り当て領域がFAT32「HP_TOOLS」パーティションの前に表示されるようになりました。



- 「HP_TOOLS」パーティションをハイライトし、ダブルクリックします。
- ソフトウェアは未割り当て領域をHP_TOOLSパーティション(この例では4.95GB。これはオリジナルの要件5GMに近い数値です)に自動的に追加します。



- **[許可する]** をクリックします。
- HP SSD レイアウトが、「HP_RECOVERY」と「HP_TOOLS」両方のパーティションの空き領域を可能にします。ノート型パソコンのハードディスクのレイアウトがコピーされました。



•次へをクリックして、続行します。



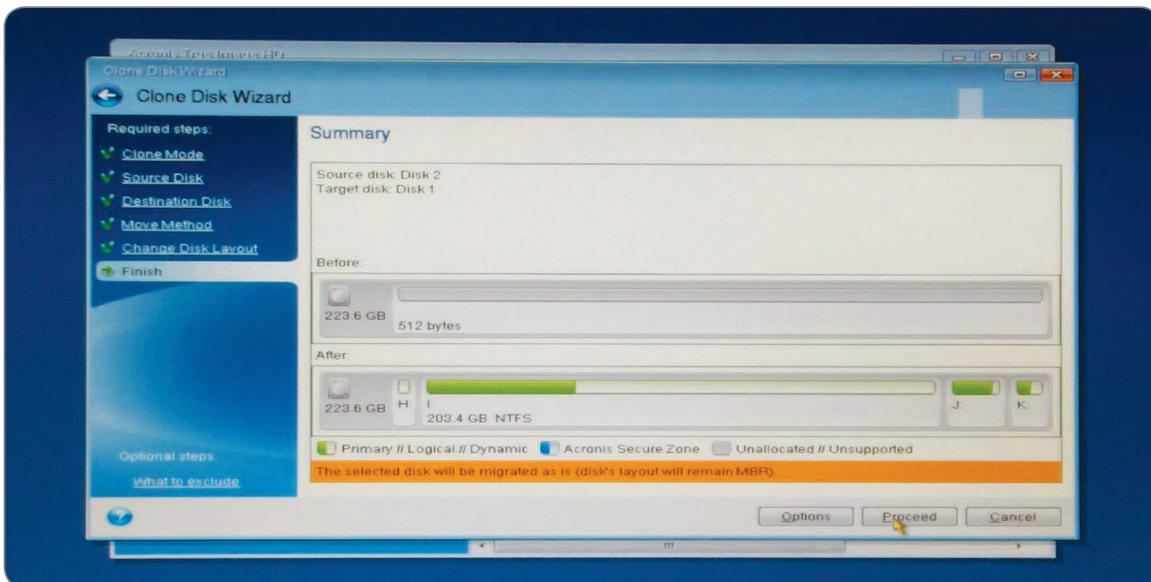
注記: 次のステップに進む前に全てのスペースが割り当てられる必要があります。

14. クローニングの概要

クローニングの概要ウィンドウでは、ソースディスク (パーティションと未割り当て領域) と宛先ディスクの配置に関する情報が視覚的に描画されます (棒グラフ)。ディスク番号とともに、ディスク容量、ラベル、パーティション、およびファイルシステム情報が表示されます。

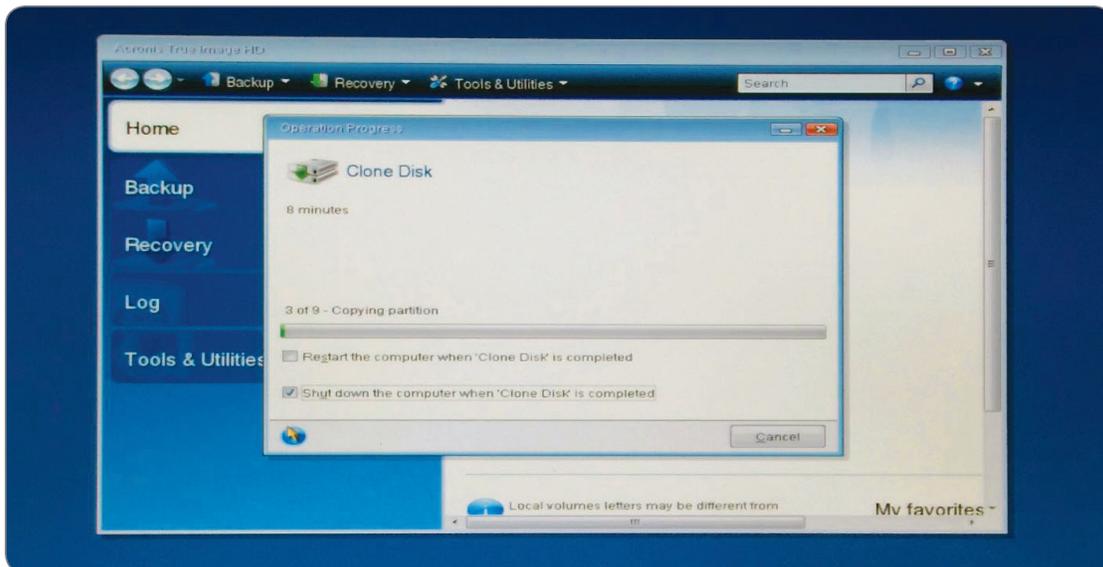
•ウィンドウはSSDのパーティションの前と後と比較し、[中止]を選択することで、メイン画面に戻って最初からやり直すことができます。

警告: このウィンドウのサイドバー上の任意の前のステップをクリックすると、選択したサイズと場所をすべてリセットされるため、再度指定し直すことになります。



15. クローニング

•続行をクリックし、クローニングプロセスを開始します。



- クローニングされたディスクから再起動されるのを防ぐため、「クローニングディスクが完成したらコンピュータをシャットダウンする」ボックスにチェックを入れることをお勧めします。

手動クローニング完了 - HP SSDが内部ストレージドライブを交換する準備ができました。

16. お使いのシステムハードドライブを取り外し、ポータブルドライブ エンクロージャに移動します。

- ハードドライブの位置の確認および取り外しの手順については、お使いのシステムの製造元発行のユーザガイドを参照してください。
- 慎重にシステムのハードドライブを取り外し、ハードドライブのブラケットがある場合はこれを分解します。

警告: ドライブのブラケットまたはネジを捨てないでください - SSDを取り付ける際に使用します。

- 覆いのネジを付属のドライバを用いて外して、2.5 インチ 外付けUSBエンクロージャを開きます。
- HP SSD を取り外し、脇へ置いておきます。



17. 外付けのUSBエンクロージャのSATAドライブ コネクタの位置を確認し、これをハードドライブの SATAのピンの位置に合わせ、ドライブがしっかりと固定されるまで、これらを一緒に押しします。



警告: 両デバイスのコネクタピンや接続部に触れないでください。

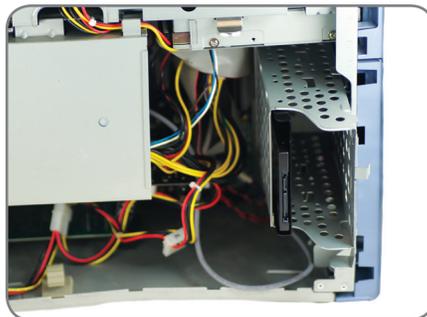
- 2.5インチ外付けUSB エンクロージャの覆いを閉じ、覆いのネジを締めて固定させます。
- エンクロージャにUSBケーブルを接続します。
- HP SSDをお使いのノート型またはデスクトップ型パソコンに取り付けると、ハードドライブはセカンダリブートドライブまたは外付けストレージデバイスとして使用できるようになります。

18. お使いのコンピュータにHP SSDを取り付けます。

- お使いのシステムのノート型またはデスクトップ型パソコンのドライブ ベイにストレージ ドライブを取り付ける手順については、お使いのシステムの製造元発行の取扱説明書を参照してください。
- ノート型パソコンの場合:** 該当する場合、システムのハードドライブのブラケットを使用してHP SSDを組み立て、お使いのシステムのドライブベイに挿入します。



- デスクトップ型パソコンの場合:** 該当する場合、付属の3.5 インチ ベイアダプタ、取り付けネジ、およびドライバを使用してHP SSDを組み立て、お使いのシステムのドライブベイに挿入します。



取り付け完了 - すべてのシステムコンポーネントがしっかりと固定されていることを確認します。システムを起動するには、システムの製造元発行の取扱説明書を参照してください。システムを起動すると、OSが立ち上がるはずですが、ファイルおよびプログラムはすべて、ハードドライブが取り付けられていたときと同じであるはずですが。

 **注記:** 他のAcronisソフトウェアユーティリティを利用したい場合は、コンピュータを再起動してメインメニューに戻る必要があります。

 **注記:** [付録]に進んでください: インストール後にシステムの準備をする – Windows XP/Vista/7 のユーザー [お使いのシステムをSSDに合わせて最適化する]

 **注記:** クローニングしたSSDを取り付けた後、リカバリやツールの機能性を維持するために、オリジナルのシステムのドライブ文字と等しくなるようにドライブ文字を変更する必要があるかもしれません。ドライブ文字の変更に関する手順は、お使いのOSのヘルプメニューを参照してください。

付録: 取り付け後のシステムの準備 – Windows XP/Vista/7 のお客様

Windows XP または Vista/7 環境にSSDの取り付けを正しく行った後、SSD機能を活用できるように、お使いのシステムを最適化するためのこれら追加手順を実行されることをお勧めします。

- スリープモードを無効にします。
- デフラグを無効にします。
- インデクシングを無効にします (SSD がプライマリドライブの場合)

 **警告:** SSD の使用に当たり Windows XP/Vista/7 のOSを準備しなかった場合、SSD のパフォーマンスが低下しシステムの応答性が低下する可能性があります。

1. スリープモードを無効にし、必要に応じて、休止状態を使用します

- Windows のコマンド プロンプトを開きます。
- Windows XP: [スタート] メニューの実行フィールドにcmd.exe と入力します。
- Windows Vista: [スタート] メニューの検索フィールドに cmd と入力し、検索の結果フィールドでcmd.exe をクリックします。
- コマンド プロンプトで に次を入力します (文字間のスペースを含む): powercfg /hibernate。
- コントロール パネルの[電源オプション] をクリックし、[コンピューターがスリープ状態の時変更する]というリンクをクリックします。
- [スリープの設定] で[スリープなし]を選択します。
- [高度電源設定の変更] をクリックします。
- スリープ設定を展開すると、お使いのコンピューターのスリープ設定をスリープなしに変更できます。手動で行う場合は、[ハイブリッドスリープを許可する]を無効にし、スタートメニューから休止状態 を選択します。

2. ディスクのデフラグを無効にします。

- スタートメニューから、[コンピューター]アイコンを右クリックし、**管理**を選択して、**[コンピューターの管理]**に入ります。
- サービスとアプリケーション**{2から}、**サービス**を選択し、**ディスクデフラグ**を右クリックし、プロパティを選択します。
- スタートアップの種類**を**無効**に変え、**OK**を選択します。

3. インデクシングを無効にします (SSD がプライマリドライブの場合)

- [マイコンピューター]**を選択し、HP SSD を右クリックし、**プロパティ**を選択します。
- 画面の下の**[インデクシングサービスを許可する]**のチェックボックスを外し、**高速ファイル検索のためにファイルをインデクシング**します。
- ファイル属性のインデクシングを無効にするため、**[コンピューターの管理]**の**[サービス]**セクションに**戻りますが(上述の通り)、今回は、Windows検索**を右クリックし、**プロパティ**を選択します。
- スタートアップの種類を**無効**に変えます。

トラブルシューティング

 **注記:** 取り付けや下記のトピックで問題が発生した場合は、問題を解決しようとせず、HPサポートまでお問い合わせください。

国・地域	北米	ヨーロッパ	台湾
電話番号	800.769.8540	0800.975.824	0800.012.358
Eメール	HPsupport@PNY.com		

システムは Acronis TrueImage HD ホーム画面ではなく、Windows を起動するか、完全に起動に失敗します。

- コンピュータを再起動します。システム再起動中に BIOS システム セットアップ プログラムを実行します。BIOS システムは、ESC、F1、F12 または DELETE 等特別なキーを押すことで有効にすることができます。(正しいキーに関しては、コンピュータ システムのマニュアルを参照してください)。
- BIOS システム 動作中にブート優先順位/順序を変更し、CD-ROM が最初のブートデバイスとなるようにします。
- 設定を保存して BIOS を終了します。(BIOS の環境設定の詳細な手順については、お使いのコンピュータ システムのマニュアルを参照してください)。
- コンピュータを再起動します。コンピュータが再起動されると、Acronis TrueImage HDが開くはずですが。

BIOS は、SSD を検出できません。

- 各ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- AHCI が BIOS で有効になっていないことを確認します(サポートされている場合)。
- ケーブルおよびジャンパー設定が正しいことを確認してから、BIOS の設定が正しいことを確認します。BIOS のセットアップに関する詳細は、お使いのシステムまたはマザーボードの製造元発行の取扱説明書を参照してください。

BIOS は SSD を検出しましたが、OS には表示されていません。

- SSD が分割され、正しくフォーマットされていることを確認します。OS により、パーティションが F ディスクを使って、または OS インストール中に生成することができます。パーティションおよびフォーマットの詳細については、OS に付属のマニュアルを参照してください。

パフォーマンスが悪い。

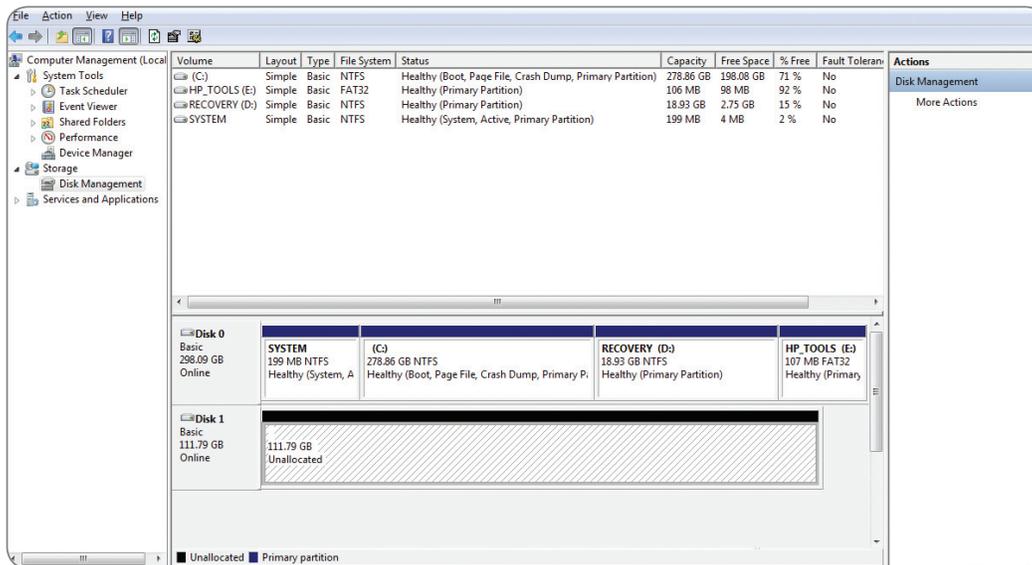
- お使いのコンピュータの BIOS で UDMA が有効になっていることを確認します。HP SSD の最高のパフォーマンスのために、お使いのシステムのマザーボードが ATA133 をサポートしていることをお勧めします。(UDMA モード 6)。
- OS のデバイス マネージャが UDMA モード 6 をサポートしているか確認してください。ATA100 (UDMA モード 5) までしかサポートしていない場合は、パフォーマンスに影響を与えます。
- 一部のオンボード SATA チップセットは SSD を全面的にサポートすることができません。SATA ホストバスアダプタまたは RAID コントローラでは、これらのマザーボードが必要かもしれません。
- お使いのマザーボードのチップセットで利用可能な新型ドライバ (SATA ドライバ含む)があるかを確認してください。一部のデスクトップは、複数の SATA のチップセットを持っています。コネクタ (ポート) は、チップセットごとに色分けされている場合があります。可能であれば、マザーボードで利用可能な最速の SATA チップセットを選択します。お使いのシステムで使えるチップセットの詳細は、システム製造元発行の取扱説明書を参照してください。
 - 通常、ハードドライブに接続されているチップセットが最速になります。ハードドライブを HP SSD に交換すると、自動的にこれが実行されるはずですが。
 - セカンダリ SATA ドライブでは、出発点をハードドライブと同じ色のチップセットに差し込む必要があります。

OS インストール後にコンピュータを再起動するとエラーが発生しました

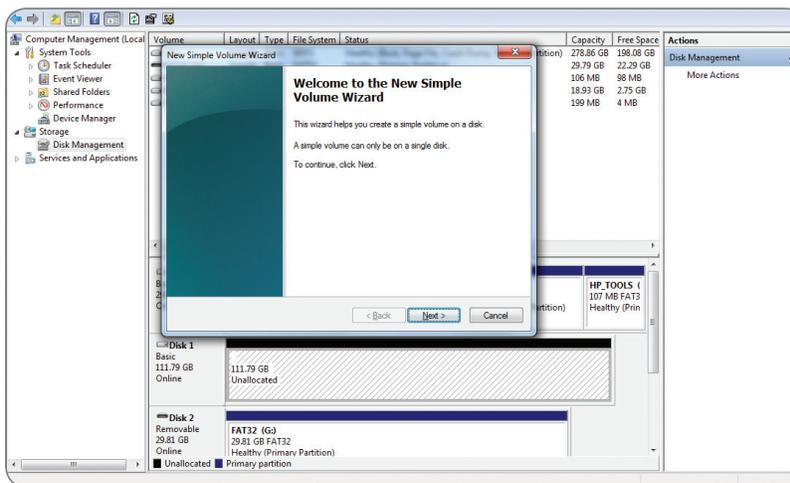
- BIOS セットアップで AHCI モードを無効にします。
- 最新の SATA デバイスドライバをインストールします (通常は、お使いのコンピュータがマザーボードの製造元の Web サイトから入手できます)。
 - 新型システムについては、SATA ドライバ等、製造元のチップセットのドライバをアップグレードする必要があるかもしれません。

システムが SSD を検出できず、フォーマットできません。

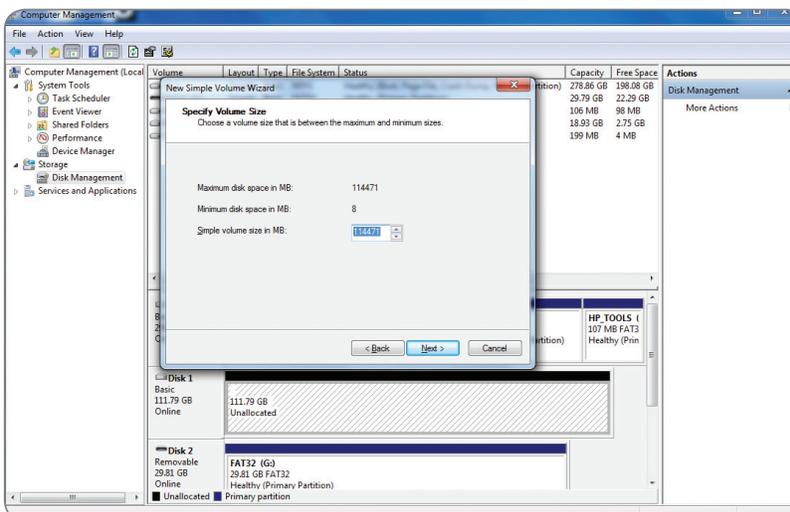
- スタートメニューから、**管理ツール**を選択し、**コンピューターの管理**→**ディスク管理**を選択します。
- ディスク管理ウィンドウは、お使いのシステム内の全ての内部ドライブ (HDD または SSD) と外部ドライブ (ポータブルハードドライブ、USB ドライブ、フラッシュメモリ カード等) を表示します。システムパーティションを正確に表示するために、全ての外付けストレージデバイスを外す/取り出すことをお勧めします。



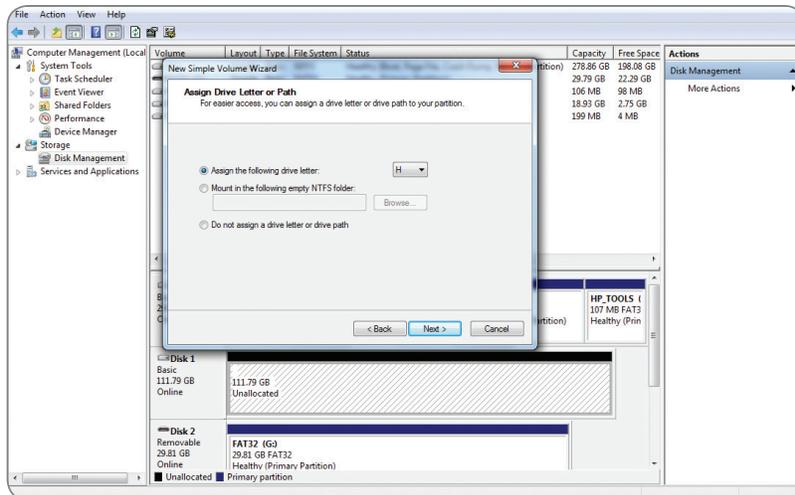
- HP SSD は、ブラックバンディングで、**未割り当て**として利用可能なストレージ容量を表示します。
- **新規シンプル ボリューム**ウィザードを起動するため、未割り当て領域を右クリックします。



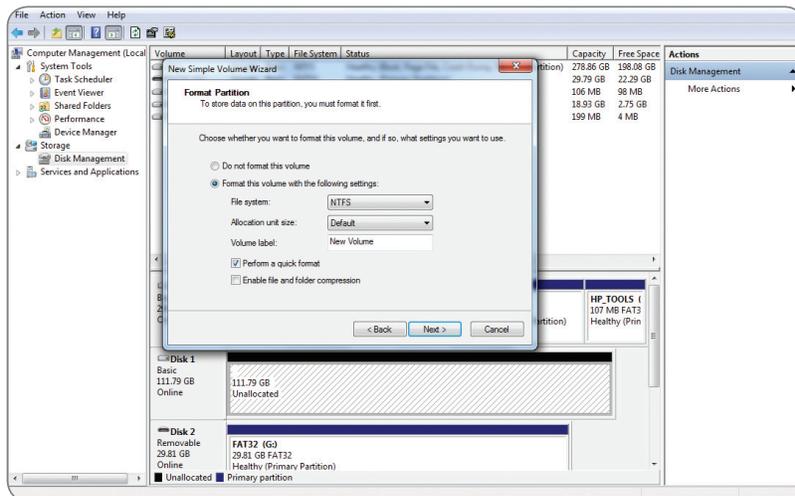
- ウィザードで**次へ**を選択し、デフォルトで最大ディスク容量に設定されているボリュームサイズを特定します。
- デフォルトの最大値のままにして**次へ**を選択します。



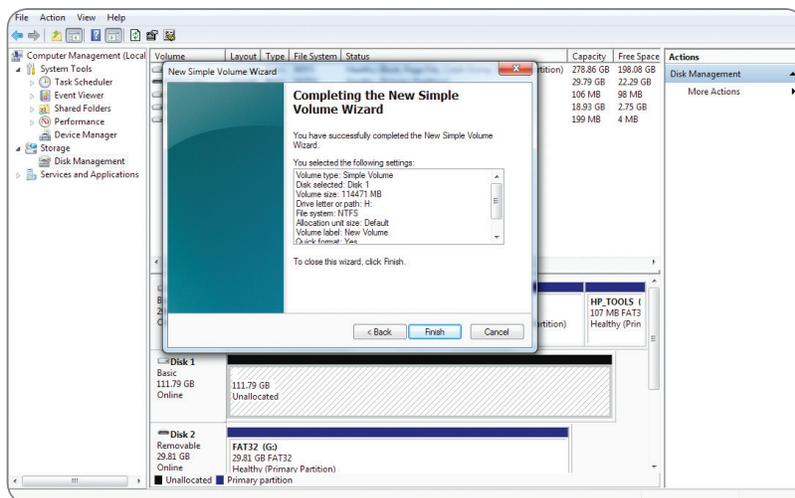
- ウィザードがデフォルトのドライブ文字を割り当てるか、別の未使用の文字を選択できます。完了後、[次へ]を選択し、フォーマットパーティション画面へ移動します。



- このボリュームをフォーマットするを選択し、ファイルシステムをNTFS、割り当てユニットサイズをデフォルトに設定し、ボリュームラベルはそのままにしておきます。レビューするため、次へを選択します。



- お使いのHP SSD をフォーマットするため、仕上げを選択します。これには数分間かかる場合があります。



限定 3 年保証、www.hp.com/go/warrantyinfoをご覧ください。
規制遵守宣言および取扱指導についてはwww.hp.com/supportにアクセスしてください。

© Copyright 2012 Hewlett-Packard Development Company, L.P. その他すべてのブランドおよび製品名は
商標、登録商標またはサービスマークの各々の所有者に帰属します。

Updated GMT-02:00 06:03PM Jan 28 2013